

(4) 宣言

ファッショの波と未曾有の經濟界の混亂の中に吾々は日本  
での第十三回目のメーデーを向へた

是を没落の前夜に於て凶暴化せん資本の身勢は農民と労働者  
の生活を犠牲にして吾々に歎死を迫つて居る。其ればかりで  
はない彼等地主は不景氣に依る損失を吾々農民労働者に轉嫁  
せんとして立入禁止、立毛差押、小作料のつり上げ等其の他  
凡ゆる武器を以て鈎瓶打に吾々を襲撃して來る其の事は取り  
もなほさず吾々に歎死を迫ることである。三杯の飯が一杯に  
削られて行く時生活資源を持たない農民から土地を取上げら  
れる時、澤山の家族を抱へた吾等の同胞は工場を追ひ出され  
て行く時に吾々労働者と農民は如何にして吾等の生活權を守  
らねばならぬか。

其れは労働者と農民がガツチリと腕を組んで向へたメーデー  
を組織的に闘ひ抜き吾等の要求を高く更に高く掲げて小作料  
をまける！立入禁止を止める！立毛差押をやるな！の旗の下  
で精力的に闘ふことを右宣言す

一九三二、五、一

第十三回メーデー

北豊前農民組合本部

決議

吾等は今第十三回メーデーを向へて左の決議をなす

- 一、土地取上反對。
- 二、立入禁止、立毛差押、反對。
- 三、働く農民に土地を保證せる。
- 四、小作米をまける。

一九三二、五、一

第十三回メーデー 北豊前農民組合本部